

新規就農先輩の軌跡 No. 75

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：田村 和樹（たむら かずき） 住所：養父市大屋町蔵垣 年齢：37才</p>	<p>農業経営の状況</p> <p>農地：38a 施設：パイプハウス 420㎡（6m×35m×2棟） 雨よけハウス 120㎡ 経営内容：施設野菜、露地野菜</p> <p>① 施設野菜 ほうれんそう、みずな、小松菜、春菊、 トマト（大玉、中玉、ミニ） ② 露地野菜 なす、ピーマン、オクラ、ズッキーニ、 黒大豆、ぱれいしょ、たまねぎ、しょうが、アスパラガス、だいこん、かぶ、 ブロッコリー 他</p> <p>☆農薬、化学肥料不使用（有機 JAS は未取得）</p> <p>労働力：本人、妻 出荷先：地元直売所、神戸地域のアンテナショップ、阪神間の出荷組合</p>  <p>農産物直売所に並ぶ多品目の野菜</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>2011年 奈良県、山口農園で研修(6ヶ月) 2012年 兵庫県立農業大学校実践研修(1年) 2013年 養父市に移住、就農 2014年 兵庫県知事より就農認定を受ける 現在に至る</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点 家族との時間が増え、健康的な生活になった。 人に喜んでもらえる機会が増えた。</p> <p>○苦労した点 農業機械操作のコツを掴むまで時間がかかった。野菜が思ったように成長しない、雑草が多く困った等々やってみて、初めてわかる苦労が多く、イメージどおりにはいかないこと。</p>
<p>農業を目指した動機</p> <p>加速する少子高齢化、農村の過疎化、耕作放棄地の増加等ニュースで、耳にする機会が増え、自分でも何かできるのではないか？と思った。 一から何かを作り出すことに大きな魅力を感じ、農業が20年、30年先も必要とされる仕事になるだろうと思った。</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p> <p>① 就農に向けよりよい準備を！（資金、農地、技術、意識、信用） ② 苦難、失敗から立ち直る力が必要 ③ 農業はクリエイティブな仕事、可能性は無限 ④ 自分の性格、資質に合ったスタイルの確立を目指して</p>